

ぎかい報告会・村民と語る会に関する報告書

A班	(司会)	(開会挨拶)	(議会報告)	(意見・提言まとめ)	(意見・提言まとめ)
	上地 栄	山内 政徳	津波古菊江	新垣 修幸	伊佐 真武
	(意見・提言まとめ)	(閉会挨拶)			
	嘉手苺林春	仲宗根盛良			

【11月21日・瀬名波公民館】 渡慶次小学校区 21名
(傍聴者4人)

- 問1 長浜側から国道58号線に向けての村道の設定はできないか。
- 答) 村としては今のところ村道計画はない。
- 問2 役場からの書類も多すぎるし、特に老人の相談窓口も設定してもらいたい。
- 答) 担当課に提起します。
- 問3 鳳バスの運行について、中学生だけを無料にするなり、定期券一枚で家族全員が乗車できる方法や、青少年の健全育成の面からも検討してほしい。
- 答) 交通弱者の為に導入されたものであるが、今なお村民からはいろいろとご指摘があり、あらゆる角度から議論をしていきたい。
- 問4 村と市のメリットとデメリットはどういうものがあるか。
- 答) 市への昇格は人口5万人以上が条件です。日本一の村を目指してきた経過もあり、村としての主体性を高めた方が良い。
- 問5 これまで、この種の会合で提起されたことがどのような方法で村民に回答され、また、実現がなされたか説明を求めたい。
- 答) 議員全体で検討した結果を、「議会だより」で各家庭に配布し、また、一般質問などで村当局へ政策の実現を提起している。
- 問6 報告会は4回目と言うが、どんな方法で村民に広報しているか。
- 答) 区長会を通じ、各区長さんにチラシを配り、各区民への広報の依頼をしている。
- 問7 FBIS跡地(瀬名波通信施設)の里道や農道について、草刈りや補修等は村がするのか、字が行うのか、議会としてどういう考えを持っているのか。
- 答) 現在は補修等は実施されていない。緊急性のあるところでは対応されている。本件については議会として、対応を提起したい。
- 問8 軍用地跡地への不法投棄が多くなっており、パトロールと看板の設置などはどうなっているか。
- 答) パトロールと看板などの設置も行われているが、十分にチェックの行き届かないところも考えられ、村民から担当課への連絡もお願いしたい。
- 問9 公共施設建設基金条例で3つの建物が計画されているが、それぞれの年度の説明をお願いしたい。
- 答) ①図書館が平成25・26年、②調理場が平成26年、③歴史民俗資料館が平成27年の予定です。

- 問1 平成25年度に行政区改善が計画され、それに伴い地縁認可団体の認可を得る準備をしている。改善後の名称等はどうなるのか。
- 答) 行政区は区割りであり、分かりやすい名称を使用し、地縁認可団体とは組織が異なるので、それぞれの既存字の判断となる。
- 問2 以前に行政区改善について、区長会への総務課長から説明を2～3回受けたが、今年の4月に区長も4～5名交替し、その後は説明会もないが、どうなっているか。一度も副村長や総務企画部長からの説明を受けたこともない。
- 答) 3・11の東北大震災で防災計画などの再編に多忙を極め、十分なる説明が進行してなく、行政区改善の説明を再度実施していく。
- 問3 読中跡地の方向性について、アンケート調査もあったが、その後の経過と村の考え方はどういうものか。また、波平地域にはスーパーもなく、この種の立地も考えられないか。
- 答) 村当局としては、売却したいというのが基本的な考え方である。
- 問4 鳳バスは2,200万円もの赤字がでていようで、今後はどのようにしようとしているのか。
- 答) 耐用年数の残る期間は活用したいというのが、村当局の方針です。
- 問5 鳳バスを給油所向かいの教会より東門を通り、公民館前からの運行を求めたい。
- 答) 波平区の強い要望として提起してあります。
- 問6 1,000万円を東北大震災に寄附されているが、この財源は何で充当されたか。
- 答) 予算は厳しい状況であります。村としても心からの支援をするため、一般財源から充当しました。(岩手県300万円、宮城県300万円、福島県300万円、岩手県遠野市100万円)
- 問7 親志～波平線よりも波平～都屋線を早めに施工すべきと思うが、その後はどうなっているか。
- 答) 中央残波線の変更に伴い、平成24年度に計画されている。
- 問8 国道読谷道路の進捗状況はどうなっているか。交通アクセスが非常に悪くなってきており、嘉手納側とも協議し、道路変更も含め、読谷村として提起できないか。なお、嘉手納バイパスの早期開通に向けて努力してもらいたい。
- 答) 嘉手納町側で町民とのいろいろな問題がネックとなっており、まだまだ時間を要すると思う。議会としては、一日も早い開通に向けて努力する。
- 問9 読中跡のグラウンド敷地は借用させてもらっているが、公民館も建設して間もないため、同敷地の購入も出来ない状況にある。良い方策はないか。
- 答) 波平区の要望として提言していく。
- 問10 読中から西側むけの生徒が下校時の道路に簡易の外灯を設置して欲しい。
- 答) 生徒の安心・安全を守る立場から申し入れる。

問11 本会議の際、答弁予定のない課長もなぜ全員出席してもらっているのか。必要がないと思う。業務遂行した方がよい。

答) 以前にも定例会と臨時会への村当局の本会議出席者について改善を行った。今回の提起も全議員で協議し、村当局と話し合っけて検討したい。

問12 区長会と議会の交流会を是非実施してもらいたい。

答) 良い提案であり、全議員で協議し、実施する。

【11月21日・大添公民館】

古堅小学校区 18名

問1 行政区改善が予定されているが、どう考えるか。行政区未加入問題は。

答) 村全体で49%が未加入で、特に南部地域は65%が未加入である。村は平成25年制定(行政区割等)するとの事。議会も行政区改善等特別委員会を作り19回の会議を開催している。

問2 県道6号線の渋滞解消については県の仕事と思うが、要請すべきではないか。村は県へ要請してないと聞いている(朝と夕方渋滞がある)。セーラ苑から東側への通り抜けは。

答) セーラ苑から東側への通り抜けは、平成25年度以降に開通予定と聞いている。

問3 県道6号線の渋滞の件で、南部地域の区長と議会の建設経済委員会で南部地域の道路について、中・長期的な計画があるとの説明を受けた。10年以上経過しても計画が進んでない。中央残波線の開通により、渋滞が解消できると思うが。

答) 平成25年度供用開始の予定である。大木～喜名線の設計が入っており、事業が終了すれば渋滞はかなり解消すると思う。

読谷道路の開通が早ければ、渋滞解消は早いと思う。大木の区画整理事業を早く行う事で、読谷道路の開通も早くなる。平成24年～26年に県道6号線との交差点はボックスカルバートになる。南部地域より陳情が出されているので、事業も早くなると思う。

問4 読谷道路の進捗状況は。

答) 平成24年度一部舗装。沖ハム方向へのアクセスは未定。嘉手納側も見透しが見えない。

問5 TPP問題についての対応は。

答) TPP問題問題について、すでに議会で反対決議を行った。

問6 読谷村での幸福度は、どの位置にあるか。

答) 幸福度について議論したことはない。

問7 読谷村のラスパイレス指数は高いと聞くが。

答) 市町村の財政により違ってくる。他市町村に比べ、人口に対しての職員数は少ない状況である。

問8 議会報告会での要請事項の中で何を優先し、議員はどの項目から実行していくのか。

答) 5会場で同様の報告会が開催されている。終了後に全体協議会でまとめ回答していく。

- 問9 大型スーパー、総合病院等、健康福祉面での施設がほしい。
- 答) 返還軍用地跡地に病院等を作るための陳情が提出される予定である。
- 問10 児童公園に遊具等の整備が少ない。
- 答) 遊具整備は計画中、近々に「都市公園安全・安心対策整備事業」でブランコ、スベリ台、砂場等が事業化される予定である。
- 問11 障害者雇用は生かされているが、シルバー人材の活用がない。
- 答) シルバー人材の件は、これまでも議会で活発に議論されている。
- 問12 特定検診の受診率は、大添が45%と思うが、65%にするために頑張っているが若者(40代)を説得する方法は。
- 答) 各地域での差があり、若者対策は厳しい状況にある。健康サポーター制度導入により成果は期待されている。
- 糖尿病予備軍が1,000名程いる中で、透析患者になると治療代として年間600万円/1人かかる。それを防ぐ為にも特定検診受診率を上げる努力が必要である。
- 問13 現在の居住している自治会には加入せず、旧部落に加入している村民がいるのはおかしいと思う。故に未加入問題がある。行政区と番地(例:行政区は大添だが、郵便物は楚辺となっている)が違うので、改善できないか。
- 答) 議会としても、行政区改善等調査特別委員会を設置して議論している。
- 問14 県道6号線は対面通行である為に渋滞している。4車線の交通形態にすれば解消されると思うが。
- 答) 提言として受け止めます。
- 問15 ユニバーサル社会の実現(健常者・障害者・高齢者すべての人)。
- 答) 提言として受け止めます。
- 問16 急傾斜地崩壊危険区域の落石防止及びトリイ基地からの落石対策。
- 答) 県の事業で、県と連携して対応していくとの答弁がありました。
- 問17 AEDの導入(村民の命と暮らしを守ることを最優先の施策に)。
- 答) 村としては増設したいと答弁しています。
- 問18 楚辺東公園維持管理費及び整備計画(防災機能の高い公園整備)
- 答) 提言として受け止めます。

問19 地域防災計画(災害時における米軍や事業者との協定)。

答) 提言として受け止めます。

問20 県道6号線縁石の適正化(縁石高10cmが随所にある、歩行者が危ない)。

答) 提言として受け止めます。

問21 村有財産(里道)の問題。

答) 議会から提言してあります。

【11月21日・比謝公民館】

古堅南小学校区 24名

問1 区長会の時に、総務課長より南地区の区長に行政区改革についての説明があったが、今、現在の進捗と議員の認識状況は。

答) ・行政区改善の話が出たそもそもの理由は、人口も4万人を超え、これまでの字体制では限界にきている。

・過去の行政区改善のような字と字を合併させようとする改善ではなく、区割りにより行政未加入者を無くす目的での改善である。

・村条例において、字は条例に謳われてなく、何処までがどの字なのか条文化されていないのが現状である。また、平成22年度より県の指導により、公民館での税金徴収も廃止された。

・具体的な案は未だないが、行政としては平成25年度までにはスタートさせたいようである。それに伴い、議会では行政区改善等調査特別委員会を設置し、今後の地域コミュニティーの形成、村づくりを考えているところである。

・現在、支給されている運営補助金等は、従来どおり補償される。

問2 委員会にて、自治基本条例について取り組んでいるようであるが。

答) 総務常任委員会にて、自治基本条例の素案を調査し、基本的な事項について提起してある。

問3 来年より大湾東の区画整理(26ha)が始まるが、そこでは地番表示ではなく住居表示の方が良いと思うが。

答) 住居表示に関して、宜野湾市を調査した際、読谷村でも取り入れるべきとの発言もあったが、村としての計画はない。

問4 今後、村道認定はしないとの話を聞いたがどうなのか。

答) 村道を認めないという話は聞いたことがない。(仮)伊良皆～大湾線、比謝横断線などは村道計画である。

問5 比謝佐久原は最初に軍の司令部が出来たところであり、村認定の第一種低層住宅地であるが、道がなく家を建てる事が出来ず墓地化している。地主より公園及び道を作って欲しいとの声があるが。

答) 中央残波線を含めた飛行場跡地整備がメインとなっており、全体的な道路整備には至っていない。マスタープランの道路計画でも大まかな計画しかない。

問6 伊良皆～大湾線から16号線に抜ける道がなく、一方通行が多いため不便である。渋滞緩和のためにも虎地原線を含め早めの対応を求む。

答) 中期、長期の計画の遅れを感じており、議会として村民目線で取り組んでいく。

問7 ①古堅南小から大湾に抜ける道の渋滞がひどく、古堅区民は大湾を回って公民館に通っている。その区間に一方通行が3つもあり、一度入るとなかなか抜けきれない。昭和55年(30年以上前)に整備してあるので、今の事情とは違うのでその点を考慮してほしい。

②学生が部活に行く為に自転車で通るが大変危険な道である。せめて一方通行を変更出来ないか。

答) ①昭和55年に交通安全の観点から安全性を重視した道路整備であったと聞いているので、行政と関係者も交えての意見交換が必要であると認識している。

②なぜ一方通行になったのかを精査していきたい。

問8 読谷国道バイパス事業の予算が凍結したと聞いたが。

答) 読谷国道バイパス事業の予算は凍結ではなく、来年度あたりから中央残波線の方までは着手する予定である。大木区画整理も計画が進む予定であることから予算の心配はないと認識している。

問9 比謝砦地域の吉屋チルー之碑の近くで汚水の垂れ流しがみられる。

答) 議員が、比謝川河川の問題を取り上げているところである。

問10 下水道整備が比謝砦地域(南地区)にはいつできるのか。

答) 下水道に関し、南部地域は広域の流域であり整備中である。北部地域よりは進んでいる。

問11 行政区改善をすると聞いたが区割りはどうなっているか。20年ほど前は15の区に分けていたが。

答) 行政区の線引きがポイントになると認識している。

問12 行政と議会は行政区改善をどのような位置づけで動いているのか。

答) 行政も地域の皆さんの活動を支援していくつもりであり、未加入者を無くす改善である。

問13 平成23年より策定された地域福祉計画では「今ある公民館は自治公民館となり、また、福祉公民館でもある」とあるが、行政区改善との関係性と計画に対し、議会の見解は。

答) 地域福祉計画が平成23年より策定されスタートし、41市町村中16の市町村が策定している。その理由として、地域の一人ひとりに十分なサービスを行う事が基本となり、公民館を福祉公民館としているが、まだ具体的な計画までは至っていない。

行政区を設定し、そこに福祉エリアを設け、福祉委員会を作る予定であるため、行政区の区割りが必要である。また、防災エリア、自治基本条例とも関わっている。

問14 議会を傍聴したいが、なかなか行けないので簡単に傍聴できる方法は

答) FMよみたんを通してインターネットで視聴できるようになっています。

問15 南部地域に図書館等、公共施設を造って欲しい。

答) 提言として受け止めます。

問16 長田川は二級河川であるので村で管理して欲しい。

答) 提言として受け止めます。

【 11 月 24 日 ・ 親 志 公 民 館 】

喜 名 小 学 校 区 30 名

問1 南部地域にリゾートホテルの計画があると聞いているが。

答) 渡具知区長をはじめ、7人の区長からの道路整備に対する陳情と、渡具知区長から温泉付きリゾートホテルに関する陳情書が建設経済常任委員会に提出され、閉会中の継続審査中である。

問2 建設経済常任委員会に提出された陳情書の中身について。

答) 嘉手納の某企業より、波平にある土地改良区の土地を有効活用するため、道路を通して欲しいとの陳情があったが、土地改良区であるため道路の整備は難しいと判断し、議会では不採択としました。

問3 喜名にある小糸製作所跡地利用と、観音堂の管理についての進捗状況は。

答) 村として小糸製作所跡地は売却方針であり、観音堂は喜名区が管理しているが、祠の修繕は文化財認定を得た後に着手される予定である。

問4 親志～波平線、楚辺～座喜味線は着手されているが、民有地の部分の進捗状況と既存の道とのつながりは。

答) ・親志～波平線を含め、陸上競技場周辺は、12月議会において約200mの発注がされており、3月末には完成の予定である。民有地部分については把握していない。

・楚辺～座喜味線は、読谷中学校の西側に100m発注されていて、3月末には完成する見込みである。中央残波線をはじめとする読谷中学校付近は、全体計画の中では通学及び通勤路であり、混雑融和のため、早急に整備を進めているところである。

・予算の関係上、優先順位等もありますが、村民の要望を聞きながら行政と協議していきます。

・陸上競技場周辺の道路も村道座喜味12号線につながる予定ではありますが、南部国道事務所及び、地主との兼ね合いもあるため、いつ出来るかは返答できません。

問5 親志～波平線整備工事で、元の道が使用出来ず困っている。これから製糖期に入るため、早急に対応を求める。

答) 早急に担当課に伝え、対応を求めていきます。

問6 横田地域に介護施設の建設工事が行われているが、住民に十分な説明が無く、工事が始まっている。また、どのような施設なのかも解らない。

答) 介護広域連合が読谷村を指名し、定員29名の特別養護老人ホーム(仮称:瑞穂の郷よみたん)を建設しています。村民に喜ばれる施設であるため、十分な説明会を開くよう村に求めます。

問7 飛行場跡地の北地区に、キャンピングカー等で生活する方がいるが、ちゃんと調査をして欲しい。近くの農家に被害が出ている。

答) 村に報告し、実態調査をさせます。

問8 火葬場建設に関し、図面等は出来ているか。

答) 村は、多幸山の砂良原の苗畑に作る予定で、図面は未だ出来ていない。